

| | | | | | | | |
|---------------|---|---|--|----------|------|----------|----------------|
| カリキュラム 区分 | | 授業 科目 | 看護研究方法論 I Research Methodology in Nursing I | | | 担当 教員 | グレッグ美鈴 (専任) |
| 開講年次 | 3年次後期 | 単位数 | 1単位 | 科目 分類 | 総合科目 | 授業形態 | 講義 |
| 選択必修 | 必修 | 時間数 | 15時間 | | | 使用教室 | |
| 授業の目的及びねらい | | <p>看護学の研究とは何か？ どのような目的のもとに行われるのか？ 看護の哲学や理論の発展とどんな関係があるのだろうか？ 何より看護の実践にどう役立たせることができるのか、どのように実践を支える知識基盤を提供するのか？ これらを念頭におきつつ、本講では看護学研究に関する基礎的理解を得ることを目的として、研究のプロセスの前半の山場である研究目的の明確化とそのための不可欠な要素である文献検索・検討について学ぶ。</p> | | | | | |
| 授業のキーワード | | 科学的アプローチ、看護実践、研究のプロセス | | | | | |
| 講義回数 | 授業内容及び計画 | | | | | | |
| 第1回 | 看護学研究の目的・意義、看護研究の分類 演繹的推論／帰納的推論、Carperの4つの知、看護研究と看護世界のつながり | | | | | | |
| 第2回 | 文献検索・検討 医学中央雑誌、最新看護索引 Web、CiNii、Medline、ProQuest、Cinahl など | | | | | | |
| 第3回 | 研究のプロセス1 研究課題の明確化 疑問・問題から研究課題へ、看護（学あるいは実践）にとっての意味 | | | | | | |
| 第4回 | 研究のプロセス2 研究の構成要素とプロセス 研究論文の構成、研究のプロセス、査読基準 | | | | | | |
| 第5回 | 研究のプロセス3 論文の読み方・まとめ方 基本的な研究用語、文献検討の目的と方向性、文献カードの作成、クリティーク方法 | | | | | | |
| 第6回 | パラダイム 質的研究と量的研究、実証主義的パラダイム／自然主義的パラダイム、原理の比較 | | | | | | |
| 第7回 | 研究のクリティーク 質的研究と量的研究の論文クリティーク | | | | | | |
| 第8回 | まとめ | | | | | | |
| テキスト | 特に指定しません。 | | | | | | |
| 参考文献 | 授業の中で提示します。 | | | | | | |
| 成績評価の方法と基準 | 学期末試験 80%、課題 20% | | | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | <p>看護学研究は、すでに確立しているというよりは、その研究方法論の開発も併せて、現在もなお新たな挑戦に満ちた世界です。4年次に準備されている研究演習を成功裡に進めるためにも、難しいことではあっても具体例を多くして「できるだけわかりやすく」します（ただし、将来のためにレベルは下げない）ので、皆さんからも積極的に質問をしてください。ミニレポートに書かれた質問については、授業の中で共有し、理解を深めるように努力します。</p> | | | | | | |